

JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第26巻第2号

発行日●2018年7月19日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第57回 消費者行動研究コンファレンスのお知らせ

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。現在、コーディネーターの栗木契先生（神戸大学）を中心としてプログラムを検討中です。詳細については次号で再度お知らせいたします。いましてばらくお待ちください。

開催日程：2018年10月27日（土）・28日（日）

開催場所：同志社大学・今出川キャンパス（京都府京都市）

自由論題研究報告など募集！

秋のコンファレンスにおける自由論題研究報告ならびに公募シンポジウムの報告を募集します。募集の詳細は、JACS Web サイト（<http://www.jacs.gr.jp/>）をご覧ください。

第56回 消費者行動研究コンファレンス 開催報告

<統一論題> デジタルマーケティングと消費者行動の現在・過去・未来

2018年5月19日、20日に東京都武蔵野市の亜細亜大学キャンパスにて、第56回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。第1日目午前には台風の接近で中止になった第55回コンファレンス第2日目からの代替措置報告を含めた様々な報告が3つの会場で行われました。また第1日目午後には「デジタルマーケティングと消費者行動の現在・過去・未来」をテーマとしたシンポジウムが開催され、株式会社ジンズ MEME 事業部の上間裕二氏による基調講演「ウェアブルデバイスが可視化する消費者行動と乗り越えるべき課題」、続いて電通アイソバー株式会社ビジネスデザイン部の高橋勝也氏による基調講演「デジタルマーケティングリサーチと人間力」が行われました。基調講演に続けて慶應義塾大学山本晶准教授にも登壇いただき、司会として登壇いただいた跡見学園女子大学・電通総研の丸岡吉人教授を含めた4名によるパネルディスカッションが行われました。

第2日目午前には2回目の試みであるラウンドテーブルが5つの会場で開催され、いずれもゲスト報告者と来場者を交えた活発な議論が展開されました。第2日目午後にも3つの会場で多くの研究報告が行われました。

第1日目夕刻の懇親会を含めて大変盛況なコンファレンスとなりました。登壇くださった多くの先生方、会場をご用意くださった亜細亜大学の皆さまに感謝申し上げます。

『消費者行動研究』の投稿論文募集

消費者行動研究学会の研究雑誌として『消費者行動研究』を刊行しています。査読付き論文として運用されています。本誌は、学会員のみならず非学会員の投稿も受け付けておりますので、興味のある方は、投稿規定をお読みになり投稿をお願いします。募集の詳細や申込方法は、JACS Web サイト (<http://www.jacs.gr.jp/>) をご覧ください。

『消費者行動研究』の査読状況

これまで会員総会でもご報告しておりますが、News Letter でも『消費者行動研究』の査読状況について情報公開をさせていただきます。審査が全て終わっている 2015 年度(2015 年 4 月～2016 年 3 月)の投稿は 11 本 (うち研究ノート 1 本) あり、採択 6 本、不採択 5 本という結果でした。採択率は 55%であり、2014 年度の 21%より高く、内容が一定水準に達している論文は十分採択される可能性があります。

また、受稿から第 1 回目の査読結果の 2015 年度平均返却期間は約 3 か月半 (正確には 108.4 日) であり、できる限り迅速な査読結果の返却を目指しております。皆様のご投稿を心よりお待ちお願い申し上げます。

2018 年度年会費の振込みと会員情報の確認のお願い

先日、会員の皆様には、2018 年度年会費の請求書と会員情報のご確認をお願いする書面をお送り致しました。

年会費に関しては、お近くのゆうちょ銀行・郵便局で同封の払込取扱票にてご納入ください。なお、払込取扱票を使用せずにお振込みの場合は、振込依頼人名に会員ご本人氏名と会員番号下 7 桁 (ハイフンを除く) を必ず含めてください。依頼人名が変更できない場合は jacs@asas-mail.jp までご連絡ください。

また、同封しております会員情報ご確認の書面に、現在ご登録頂いております「会員登録情報」を記載しております。お手数ではございますが、一度、ご確認をお願い致します。ご登録の所属先等が古いままで更新されていない方が数多く見受けられます。会員様同士のご連絡や、学会からの郵送及びメールによる各種ご案内が滞っている恐れがございますので、現在のご所属先と異なっている場合は、同書面に記載の方法にて変更をお願い致します。

—JACS プロポーザル賞 優秀賞—

「トピックモデルを用いた顧客セグメントによる製品カテゴリ認知に関する考察」

佐藤圭（甲南大学）

第17回 JACS 論文プロポーザル賞優秀賞をいただき、大変うれしく思っております。受賞時は大阪市立大学大学院に在籍しておりました。

この度、私が提案した研究は、消費者によりウェブ上に投稿された製品レビューデータから、製品についての複数の「トピック」を抽出し、消費者が見ている製品市場の構造を推定することで、企業の STP 戦略の策定を支援することを目的としたものです。

製品レビューやクチコミデータは、一般にテキストで構成されています。そのようなデータは、規模が大きくなると、人手による内容の整理はほぼ不可能となります。そこで、本研究では、文書の内容をトピックとして要約できるトピックモデルという分析手法を利用しています。

トピックモデルは、情報探索への応用を目的に提案された確率的生成モデルの一つです。このモデルでは、分析対象となるテキストが複数のトピックから成り立っているものと考え、それらのトピックの内容と、各テキストに含まれるトピックの割合を推定します。たとえば、デジタルカメラの製品レビューからは「防水」「衝撃」「防塵」といった単語から構成される「アウトドア性」といったトピックが推定され得るといった具合です。さらに、あるレビューにはこのトピックが二割程度含まれている、といったことを知ることができます。

マーケティング分野において、このようなモデルの応用を試みた研究として、Tirunillai and Tellis (2014) の製品ポジショニングに関する分析フレームワークがあります。このフレームワークでは、投稿された製品レビューの内容から推定されたトピックを、消費者によって示された製品の評価次元として捉えて、それらをブランド・マップ等に活用することが提案されていま

す。本研究は、このような評価次元を用いて、製品に対して似たような視点をもつ消費者をセグメント化すると同時に、各製品に対する投稿頻度にもトピックモデルを適用することで、各セグメントによって似た買われ方をする製品カテゴリも推定するように拡張したものです。つまり、質的情報と量的情報を組み合わせることで、消費者から見た製品カテゴリの特徴だけでなく、同質的な評価視点をもつ顧客セグメントと製品カテゴリの対応についても投稿情報から推定してしまおうとする試みです。

提案時では、基礎的なトピックモデルである Latent Dirichlet Allocation と呼ばれるモデルを利用していました。しかし、推定されるトピックが細かすぎて消費者のセグメント化がうまくいかないという課題があったため、現在、より大きな意味のまとまりとしてトピックを推定できる別のモデルを利用して、追加分析を実施している最中です。

消費者行動やマーケティングの研究分野では、製品やサービスに関する消費者の心理や感性を表すものとして、テキストデータの他に、音楽や動画像といったデータが多く存在しています。トピックモデルは、離散値のデータであれば適用可能であるため、今後は、これらのデータに対しても有効な活用方法を模索し、消費者が見ている世界をより鮮明に描き出すことで、企業活動の意思決定を支援できる方策を提案していければと考えています。

最後になりましたが、本研究に貴重なご助言をくださった審査員の先生方、コンファレンス運営に携わられた皆様、日頃からご指導いただいております小林哲先生をはじめとする先生方に、お礼を申し上げます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2017 年度決算報告および 2018 年度予算案

2018 年 5 月 19 日に開催された役員会および会員総会において、2017 年度の決算報告、および 2018 年度の予算案が下記のとおり承認・決定されました。ここにご報告いたします。

科 目	2017 年度			2018 年度
	予算額	決算額	差異	予算額
1) 収入の部				
会費収入	6,405,000	6,005,000	400,000	7,030,000
学術会員	4,080,000	4,035,000	45,000	4,570,000
学術学生会員	325,000	335,000	-10,000	455,000
個人賛助会員	195,000	175,000	20,000	200,000
法人賛助会員	1,350,000	1,100,000	250,000	1,150,000
滞納等	455,000	360,000	95,000	655,000
コンファレンス収入	2,000,000	2,989,000	-989,000	2,000,000
学会誌販売収入	80,000	163,821	-83,821	160,000
雑収入	0	46	-46	0
助成金	-	-	-	500,000
収入合計	8,485,000	9,157,867	-672,867	9,690,000
2) 支出の部				
印刷費	300,000	360,590	-60,590	400,000
ニューズレター	300,000	360,590	-60,590	400,000
事務費	1,690,000	1,348,473	341,527	940,000
学会誌印刷・発送一式費	1,000,000	477,605	522,395	500,000
通信費	140,000	144,385	-4,385	140,000
Web ホスティングサービス利用費	50,000	52,704	-2,704	100,000
ホームページ英訳費・リニューアル費	-	-	-	0
その他	500,000	673,779	-173,779	200,000
事業運営費	3,950,000	4,763,112	-813,112	4,800,000
コンファレンス支出	2,000,000	3,525,732	-1,525,732	2,000,000
コンファレンス開催費(開催校補助費)	400,000	400,000	0	400,000
学会誌作成費(査読謝礼費)	350,000	257,780	92,220	300,000
査読システム運用費	250,000	129,600	120,400	250,000
学会誌サポート費	-	-	-	500,000
国際交流事業費	250,000	250,000	0	250,000
ワークショップ開催費(開催補助費)	200,000	0	200,000	600,000
プロポーザル賞賞金	500,000	200,000	300,000	500,000
予備費	3,501,394	3,257,808	243,586	3,550,000
出版システム開発費	250,000	0	250,000	250,000
事務委託費	3,251,394	3,257,808	-6,414	3,300,000
支出合計	9,441,394	9,729,983	-288,589	9,690,000
当年度収支差額	-956,394	-572,116	-384,278	0
前年度繰越金	34,651,298	34,651,298	0	34,079,182
次年度繰越金	33,694,904	34,079,182	-384,278	34,079,182

上記の通り報告いたします。

事務局担当理事 高橋 広行 印

上記の報告を適正なものと認めます。

監事 松井 剛 印

事務局メールアドレスの変更について

本会事務局委託先の学会支援機構におけるネットワークセキュリティ強化に伴いまして、誠に勝手ながら学会事務局メールアドレスを以下の通り変更いたしました。

(旧) jac@asas.or.jp

(新) jac@asas-mail.jp

アドレス帳等の登録がありましたらお手数ですがご変更をお願いいたします。

学会費の「銀行振込み」についてのお願い

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局までe-mailにてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。

ご所属やご住所が変更となる際には、必ずJACS事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記JACS事務局までお願い致します。なお、ホームページからご自身で直接、変更可能ですので、是非ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

●入会資格

[学会会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学会会員2名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●年会費

[学会会員] 10,000円

(但し、大学院生は5,000円に減免)

[賛助会員] 個人会員 1口 5,000円

法人会員 1口 50,000円

●日本消費者行動研究学会(JACS)事務局のご案内●

(事務局) 同志社大学 商学部 高橋広行研究室
〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入
Email: jac.assist@gmail.com

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F
一般社団法人 学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025 Fax: 03-5981-6012 Email: jac@asas-mail.jp

<JACS Website> <http://www.jacs.gr.jp/>